

進路だより ～資格について～

進路指導部 守谷 薫

みなさん、将来やりたいことは決まっていますか？決まっている方も、まだ悩んでいる方も、今すでに働いているという方も、資格をもっていると就職活動の際、履歴書に記入ができたり、この人はこれだけの知識・スキルを持っている人なんだという判断基準にもなるためアピールにつながります。今回は、様々な資格について紹介します。



資格	特徴
簿記検定	お金の出入りを記録するための方法で、日々の取引を帳簿に記入する。簿記の資格を持っていると、経理部門などで活躍ができる。
MOS	Word、Excel、PowerPoint など、PCの基本スキルの証明となる資格。事務系の仕事を希望する場合、PC作業も多いため、持っているとな作業もしやすい。
ビジネス能力検定	ビジネスマナーやビジネススキル、社会人として必要な仕事の能力を評価する試験。
情報処理技術者試験	情報処理系の知識・技能が一定水準以上であることを認定する試験。国家資格であるため、企業等からも求められる資格。
診療報酬請求事務能力認定試験	医療事務関係の資格が複数ある中で最高峰ともいわれている。この資格を持っていると、資格給を出してくれる職場もある。
栄養士	栄養学に関する専門的な知識と能力を有するかどうかを試すための資格試験で、国家資格にあたる。
宅地建物取引士	不動産取引の専門家を示す資格。お客様が知っておくべき重要事項を説明する等、資格保持者しかできない仕事があるため、資格給が出される職場が多い。
救急救命士	交通事故など、緊急を要する傷病者を運ぶ救急用自動車等に同乗して、医師の指示のもと、輸液や気道の確保などの救急救命処置を行うことができる。国家資格にあたる。
保育士	保育所など児童福祉施設で、乳児から小学校就学までの幼児を保育する。国家資格にあたる。
自動車整備士	自動車の整備に関する知識などを有するかどうかを試すための試験で、車の不調が原因で事故が起きることのないよう、万全の状態にすることが使命。国家資格にあたる。
TOEIC	ビジネスの場や日常生活における会話や文章でのやりとりといった英語能力をはかるための試験。
TOEFL	英語圏の大学・大学院に入学し学ぶことや、海外留学するのに必要な英語力があるかどうかを見極めることを目的につくられた英語能力をはかる試験。



上記の他にもたくさんの資格があります。資格はもっていて損することはありません。独学でも対策すれば取得を目指せるものや、資格取得が就職に直結するものもあるため、興味があるものは詳しく調べてみてくださいね！